

令和6年度病害虫発生予察予報第1号（令和6年4月）

令和6年4月3日
高知県病害虫防除所

《予報の概要》

| 作物名 | 病害虫名 | 予想発生量※ |
|-----------------|--|--|
| 促成キュウリ | べと病 うどんこ病 つる枯病 褐斑病 黄化えそ病 退緑黄化病 ミナミキイロアザミウマ タバココナジラミ | <u>多(中央)</u> 、 <u>やや多(中西、西)</u> <u>やや多(県下全域)</u> <u>多(西)</u> 、平年並(中央、中西) <u>多(中央)</u> 、少(中西、西) <u>多(県下全域)</u> <u>多(県下全域)</u> <u>多(西)</u> 、 <u>やや多(中央、中西)</u> <u>やや多(県下全域)</u> |
| 促成ナス | 灰色かび病 うどんこ病 黒枯病 すすかび病 ミナミキイロアザミウマ タバココナジラミ | <u>多(東、西)</u> 、やや少(中央) <u>多(東、中央)</u> 、少(西) <u>多(西)</u> 、 <u>やや多(東)</u> 、やや少(中央) <u>多(西)</u> 、 <u>やや多(東、中央)</u> 少(県下全域) <u>多(西)</u> 、平年並(中央)、やや少(東) |
| 促成ピーマン ・シシトウ | うどんこ病 斑点病 黒枯病 アブラムシ類 ハスモンヨトウ ミナミキイロアザミウマ タバココナジラミ | <u>やや多(県下全域)</u> <u>多(東、中央)</u> 、 <u>やや多(中西)</u> <u>多(東、中央)</u> 、やや少(中西) <u>多(東)</u> 、 <u>やや多(中央)</u> 、少(中西) <u>多(東、中央)</u> 、少(中西) <u>やや多(中央)</u> 、平年並(中西)、少(東) <u>やや多(中西)</u> 、やや少(中央)、少(東) |
| 促成トマト | 灰色かび病 葉かび病 すすかび病 黄化葉巻病 タバココナジラミ | <u>やや多(中央)</u> <u>多(中央)</u> <u>多(中央)</u> <u>やや多(中央)</u> <u>多(中央)</u> |
| 水稲 | スクミリンゴガイ | <u>多(県下全域)</u> |

※ ()内の表記 東：県東部、中央：県中央部、中西：県中西部、西：県西部
 県東部：安芸市、室戸市および安芸郡の町村
 県中央部：高知市、南国市、香美市、香南市、長岡郡・土佐郡の町村、
 吾川郡いの町および高岡郡日高村
 県中西部：土佐市、須崎市、高岡郡(日高村を除く)の町村および吾川郡仁淀川町
 県西部：四万十市、宿毛市、土佐清水市および幡多郡の町村
 なお、野菜は「土佐市」を中央部に入れています。

I 気象予報(高松地方気象台 3月28日発表)

3月30日から4月29日までの天候見通し

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため高いでしょう。特に期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。低気圧や前線などの影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込みです。

向こう1か月の平均気温は、高い確率70%です。降水量は、平年並、多い確率とも40%です。日照時間は、平年並、少ない確率とも40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、高い確率70%です。3～4週目は、高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

| 期間 | 対象地域 | 要素 | 低い(少ない) | | 平年並 | 高い(多い) |
|-----|------|------|---------|----|-----|--------|
| 1か月 | 四国地方 | 気温 | 10 | 20 | 70 | |
| | | 降水量 | 20 | 40 | | 40 |
| | | 日照時間 | 40 | | 40 | 20 |

<気温経過の各階級の確率(%)>

| 期間 | 対象地域 | 低い | | 平年並 | 高い |
|-------|------|----|----|-----|----|
| 1週目 | 四国地方 | 10 | 10 | 80 | |
| 2週目 | | 10 | 20 | 70 | |
| 3～4週目 | | 10 | 40 | | 50 |

<予報の対象期間>

1ヶ月：3月30日(土)～4月29日(月)

1週目：3月30日(土)～4月5日(金)

2週目：4月6日(土)～4月12日(金)

3～4週目：4月13日(土)～4月26日(金)

II 病虫害発生予想

1 促成キュウリの病虫害

1)べと病

予 想 発生量：多(中央部)、やや多(中西部、西部)

根 拠

(1) 3月の調査では県下全域で発生が見られ、発生面積は県中央部で平年より多く、中西部と西部で平年並であった。発病程度は中央部と西部で平年より高く、中西部で平年並であった。

(2) 向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されていることから、既発ほ場を中心に発病は増加すると考えられる。

対 策

- (1) 多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。
- (2) 換気などによりハウス内湿度の低下に努める。日射が強くなり、ハウス内気温が急上昇し結露しやすくなることから晴天時には特に注意する。

2) うどんこ病

予 想 発生量：やや多(県下全域)

根 拠

- (1) 3月の調査では県下全域で発生が見られ、発生面積はいずれの地域も平年並であった。発病程度は、県西部で平年より高く、中央部と中西部で平年並であった。
- (2) 4月の気温は高いと予想されていることから、日中のハウス内は乾燥条件となりやすく、発病は増加すると考えられる。

対 策

- (1) 他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。

3) つる枯病

予 想 発生量：多(西部)、平年並(中央部、中西部)

根 拠

- (1) 3月の調査では県下全域で発生が見られ、発生面積は県西部で平年より多く、中央部と中西部でやや少なかった。発病程度は、中央部と中西部で平年並、西部で平年より低かった。
- (2) 向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されていることから、既発ほ場を中心に発病は増加すると考えられる。

対 策

- (1) 発病した茎葉等は早めに除去し、ほ場外に持ち出して処分する。
- (2) 多発すると防除が困難になるため、発生初期の防除を徹底するとともに、換気などによりハウス内湿度の低下に努める。

4) 褐斑病

予 想 発生量：多(中央部)、少(中西部、西部)

根 拠

- (1) 3月の調査では県中央部で発生が見られ、発生面積は平年より多く、発病程度は平年より高かった。
- (2) 向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されていることから、既発ほ場を中心に発病は増加すると考えられる。

対 策

- (1) 多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底するとともに、換気等により、ハウス内湿度の低下に努める。
- (2) 下葉の老化した発病葉は早目に除去し、ほ場外に持ち出して処分する。
- (3) キュウリの品種間で本病に対する感受性が異なるので、発病しにくい品種の導入を検討する。

5) 黄化えそ病

予 想 発生量：多(県下全域)

根 拠

- (1) 3月の調査では、県下全域で発生が見られ、発生面積は県中西部と西部で平年より多く、中央部でやや多かった。発病程度は西部で平年より高く、中西部で平年並、中央部でやや低かった。
- (2) 各地域とも既発ほ場を中心に新たな発生が確認されている。また、媒介虫であるミナミキイロアザミウマの発生は、県下全域で確認されている。
- (3) 気温が上昇し、本病の媒介虫であるミナミキイロアザミウマの密度が高まると見込まれることから、既発ほ場を中心に発生は増加すると考えられる。

対 策

- (1) 媒介虫であるミナミキイロアザミウマの防除を、低密度時に徹底するとともに、ウイルスを保有した虫がハウス外に飛び出さないよう注意する。
- (2) 罹病株は早期に除去し、埋却などにより処分する。

6)退緑黄化病

予 想 発生量：多(県下全域)

根 拠

- (1) 3月の調査では、県下全域発生が見られ、発生面積はいずれの地域も平年より多かった。発病程度は県中央部と中西部で平年より高く、西部で平年並であった。
- (2) 媒介虫であるタバココナジラミの発生が県下全域で確認されていることから、4月以降も既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

- (1) 媒介虫であるタバココナジラミの防除を、低密度時に徹底して実施するとともに、ウイルスを保有した虫がハウス外に飛び出さないよう注意する。
- (2) 罹病株は早期に除去し、埋却などにより処分する。

7)ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生量：多(西部)、やや多(中央部、中西部)

根 拠

- (1) 3月の調査では、県下全域で発生が見られ、発生面積は県西部で平年よりやや多く、中央部、中西部で平年並であった。発生程度は西部で平年より高く、中西部で平年並、中央部では低かった。
- (2) 気温が上昇し、本虫の増殖に好適となることから、既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

- (1) 青色粘着トラップの設置等により、早期発見・早期防除に努める。既発ほ場では特に防除を徹底する。
- (2) 本虫は、多くの薬剤に対し抵抗性が発達しているため、天敵の利用など、化学合成殺虫剤以外の防除方法も取り入れる。

8)タバココナジラミ

予 想 発生量：やや多(県下全域)

根 拠

- (1) 3月の調査では県下全域で発生が見られ、発生面積はいずれの地域も平年並であった。発生程度は県中央部と中西部で平年並、西部で平年よりやや低かった。
- (2) 気温が上昇し、本虫の増殖に好適となるため、既発ほ場を中心に発生は増加する

と考えられる。

対 策

- (1) 黄色粘着トラップの設置等により、早期発見・早期防除に努める。
- (2) 本虫は主に上位展開葉に産卵するので、薬剤防除は上位葉を中心に実施する。

2 促成ナスの病害虫

1) 灰色かび病

予 想 発生量：多(東部、西部)、やや少(中央部)

根 拠

- (1) 3月の調査では県下全域で発生が見られ、発生面積は県東部と西部で平年より多く、中央部で少なかった。発病程度は東部と西部で平年より高く、中央部で平年並であった。
- (2) 向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されていることから、既発ほ場を中心に発病は増加すると考えられる。

対 策

- (1) 換気などによりハウス内湿度の低下に努める。日射が強くなり、ハウス内気温が急上昇し結露しやすくなることから晴天時には特に注意する。
- (2) 発病した果実はほ場外に持ち出して処分する。

2) うどんこ病

予 想 発生量：多(東部、中央部)、少(西部)

根 拠

- (1) 4月の調査では県東部と中央部で発生が見られ、発生面積は東部で平年より多く、中央部でやや多かった。発病程度は東部で平年より高く、中央部で低かった。
- (2) 4月の気温は高いと予想されていることから、日中のハウス内は乾燥条件となりやすく、既発ほ場を中心に発病は増加し、未発地域においても発生するようになると考えられる。

対 策

- (1) 他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。

3) 黒枯病

予 想 発生量：多(西部)、やや多(東部)、やや少(中央部)

根 拠

- (1) 3月の調査では県下全域で発生が見られ、発生面積は県西部で平年より多く、東部で平年並、中央部で少なかった。発病程度は西部で平年より高く、東部でやや高く、中央部で低かった。
- (2) 向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されていることから、既発ほ場を中心に発病は増加すると考えられる。

対 策

- (1) 換気などによりハウス内湿度の低下に努める。日射が強くなり、ハウス内気温が急上昇し結露しやすくなることから晴天時には特に注意する。
- (2) 多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底するとともに、発病葉

は早めに除去し、ほ場外に持ち出して処分する。

4)すすかび病

予 想 発生量：多(西部)、やや多(東部、中央部)

根 拠

- (1) 3月の調査では県下全域で発生が見られ、発生面積は県西部で平年より多く、東部と中央部では平年並であった。発病程度は、西部で平年より高く、東部で平年並、中央部でやや低かった。
- (2) 向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されていることから、既発ほ場を中心に発病は増加すると考えられる。

対 策

- (1) 換気などによりハウス内湿度の低下に努める。日射が強くなり、ハウス内気温が急上昇し結露しやすくなることから晴天時には特に注意する。
- (2) 多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底するとともに、発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出して処分する。

5)ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生量：少(県下全域)

根 拠

- (1) 3月の調査では県下全域で発生が見られなかった。
- (2) 気温が上昇し、本虫の増殖には好適となるものの、ほとんどのほ場でタバコカスミカメ等の天敵が定着しているため、少発生で推移するものと考えられる。

対 策

- (1) 多くのほ場では天敵の働きにより発生が抑制されているが、多発傾向が見られる場合には選択性殺虫剤の利用を検討する。

6)タバココナジラミ

予 想 発生量：多(西部)、平年並(中央部)、やや少(東部)

根 拠

- (1) 県下全域で発生が見られ、発生面積は県西部で平年より多く、中央部で平年並、東部でやや少なかった。発生程度は西部で平年より高く、その他の地域では低かった。
- (2) 気温が上昇し、本虫の増殖には好適となるものの、ほとんどのほ場でタバコカスミカメ等の天敵が定着しているため、発生は横ばいで推移するものと考えられる。

対 策

- (1) 本虫は主に上位展開葉に産卵するので、薬剤防除は上位葉を中心に実施する。

3 促成ピーマン、シシトウの病害虫

1)うどんこ病

予 想 発生量：やや多(県下全域)

根 拠

- (1) 3月の調査では県下全域で発生が見られ、発生面積はいずれの地域も平年並であった。発病程度は県東部と中西部で平年より高く、中央部で低かった。
- (2) 4月の気温は高いと予想されていることから、日中のハウス内は乾燥条件となり

やすく、発病は増加すると考えられる。

対 策

- (1) 他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。

2) 斑点病

予 想 発生量：多(東部、中央部)、やや多(中西部)

根 拠

- (1) 3月の調査では県下全域で発生が見られ、発生面積は県東部で平年より多く、中央部でやや多く、中西部で平年並であった。発病程度は中央部で平年より高く、その他の地域では低かった。
- (2) 向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されていることから、既発ほ場を中心に発病は増加すると考えられる。

対 策

- (1) 換気などによりハウス内湿度の低下に努める。日射が強くなり、ハウス内気温が急上昇し結露しやすくなることから晴天時には特に注意する。
- (2) 多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底するとともに、発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出して処分する。

3) 黒枯病

予 想 発生量：多(東部、中央部)、やや少(中西部)

根 拠

- (1) 3月の調査では県下全域で発生が見られ、発生面積は県東部と中央部で平年より多く、中西部で少なかった。発病程度は東部で平年よりも高く、中央部で平年並、中西部では低かった。
- (2) 向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されていることから、既発ほ場を中心に発病は増加すると考えられる。

対 策

- (1) 換気などによりハウス内湿度の低下に努める。日射が強くなり、ハウス内気温が急上昇し結露しやすくなることから晴天時には特に注意する。
- (2) 多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底するとともに、発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出して処分する。

4) アブラムシ類

予 想 発生量：多(東部)、やや多(中央部)、少(中西部)

根 拠

- (1) 3月の調査では県東部と中央部で発生が見られ、発生面積は東部で平年より多く、中央部で平年並であった。発生程度は東部で平年より高く、中央部では低かった。
- (2) 気温が上昇し、本虫の増殖に好適となるため、既発ほ場を中心に発生は増加すると考えられる。

対 策

- (1) 薬剤に対する抵抗性が発達した個体群がいる可能性があるので、防除薬剤の選定に注意するとともに、天敵の利用など、化学合成殺虫剤以外の防除方法も取り入れる。

5)ハスモンヨトウ

予 想 発生量：多(東部、中央部)、少(中西部)

根 拠

- (1) 3月の調査では県東部と中央部で発生が見られ、いずれの地域も発生面積は平年より多く、発生程度は平年より高かった。
- (2) 気温が上昇し、本虫の増殖に好適となるため、既発ほ場を中心に発生は増加すると考えられる。

対 策

- (1) 薬剤の抵抗性が発達した個体群がいる可能性があるので、防除薬剤の選定に注意する。
- (2) 卵塊やふ化後の幼虫集団を見つけたら、直ちに処分する。

6)ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生量：やや多(中央部)、平年並(中西部)、少(東部)

根 拠

- (1) 3月の調査では県中央部と中西部で発生が見られ、発生面積は中央部で平年よりやや多く、中西部で平年並であった。発生程度は中西部で平年並、中央部で平年よりやや低かった。
- (2) 気温が上昇し、本虫の増殖には好適となるものの、ほとんどのほ場でタバコカスミカメ等の天敵が定着しているため、発生は横ばいで推移するものと考えられる。

対 策

- (1) 多くのほ場では天敵の働きにより発生が抑制されているが、多発傾向が見られる場合には選択性殺虫剤の利用を検討する。

7)タバココナジラミ

予 想 発生量：やや多(中西部)、やや少(中央部)、少(東部)

根 拠

- (1) 3月の調査では中央部と中西部で発生が見られ、発生面積は県中西部で平年よりやや多く、中央部でやや少なかった。発生程度は中西部で平年より高く、中央部で低かった。
- (2) 気温が上昇し、本虫の増殖には好適となるものの、ほとんどのほ場でタバコカスミカメ等の天敵が定着しているため、発生は横ばいで推移するものと考えられる

対 策

- (1) 本虫は主に上位展開葉に産卵するので、薬剤防除は上位葉を中心に実施する。

4 促成トマトの病害虫

1)灰色かび病

予 想 発生量：やや多(中央部)

根 拠

- (1) 3月の調査では発生面積は平年並、発病程度は平年より低かった。
- (2) 向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されていることから、発病は増加すると考えられる。

対 策

- (1) 換気などによりハウス内湿度の低下に努める。日射が強くなり、ハウス内気温が急上昇し結露しやすくなることから晴天時には特に注意する。
- (2) 発病した果実や茎葉はほ場外に持ち出して処分する。

2)葉かび病

予 想 発生量：多（中央部）

根 拠

- (1) 3月の調査では、発生面積は平年よりも多く、発病程度は高かった。
- (2) 耐病性品種が普及しているものの、着果負担等により草勢が低下すると本病の発生が助長されると考えられる。
- (3) 向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されていることから、発病は増加すると考えられる。

対 策

- (1) 多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底するとともに、換気などによりハウス内湿度の低下に努める。
- (2) 発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出して処分する。

3)すすかび病

予 想 発生量：多(中央部)

根 拠

- (1) 3月の調査では、発生面積は平年よりも多く、発病程度は高かった。
- (2) 向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されていることから、発病は増加すると考えられる。

対 策

- (1) 換気などによりハウス内湿度の低下に努める。日射が強くなり、ハウス内気温が急上昇し結露しやすくなることから晴天時には特に注意する。
- (2) 多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底するとともに、発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出して処分する。

4)黄化葉巻病

予 想 発生量：やや多(中央部)

根 拠

- (1) 3月の調査では、発生面積、発病程度とも平年並であった。
- (2) 例年、低温期にはほとんど発生が見られないが、既発ほ場を中心に新たな発病株が確認されている。また、媒介虫であるタバココナジラミの発生面積も平年よりやや多い。
- (3) 4月の気温は平年よりも高いと予想されており、潜在感染株で発病が見られ始めること、また本病の媒介虫であるタバココナジラミの活動が活発になると見込まれることから、発生は増加すると考えられる。

対 策

- (1) 媒介虫であるタバココナジラミの防除を、低密度時に徹底して実施するとともに、ウイルスを保毒した虫がハウス外に飛び出さないよう注意する。
- (2) 罹病株は早期に除去し、埋却などにより処分する。

5)タバココナジラミ

予 想 発生量：多(中央部)

根 拠

- (1) 3月の調査では発生面積は平年よりもやや多く、発生程度は平年並であった。
- (2) 4月の気温は平年よりも高いと予想されており、本虫の増殖に好適となることから、既発ほ場を中心に発生は増加すると考えられる。

対 策

- (1) 本虫は主に上位展開葉に産卵するので、薬剤防除は上位葉を中心に実施する。
- (2) 黄色粘着トラップの設置等により、本虫の早期発見、早期防除に努める。

5 水稻（早期稲）

1) スクミリンゴガイ

予 想 発生量：多(県下全域)

根 拠

- (1) 1月～2月の気温が平年より高かったことから、越冬貝の死亡率は平年と比べ低かったと考えられる。また、昨年の発生面積は、県西部で平年と比べやや少～少であったものの、東部では平年より多く、中央部ではやや多～平年並、中西部では多～平年並であったことから、発生は多くなると予想される。
- (2) 4月の気温は平年より高いと予想されていることから、今後、活動が活発になると考えられる。

対 策

- (1) 水中で食害するので、発生ほ場では田植後2～3週間はできるだけ浅水管理(水深4cm以下)を行う。ただし、薬剤処理時や低温時には湛水状態とする。
- (2) 水路からの侵入を防止するため、取水口や排水口に金網等(約5mm目合)を設置するとともに、発生した貝と卵塊を捕殺する。
- (3) 貝の発生が多い場合には薬剤の本田施用を実施する。

農作物の病虫害防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

病虫害防除所ホームページ(こうち農業ネット)<https://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2016>

- ①病虫害発生予察月報、病虫害発生予察予報
- ②病虫害発生予察注意報、病虫害発生予察警報、病虫害発生予察特殊報
- ③病虫害発生予察技術資料
- ④新しく問題となっている病虫害 etc.

高知県農薬情報システム <https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/haishinfile/list/kochi>

- ①農薬の検索
- ②農薬データの一覧
- ③配信ファイルの閲覧(農薬安全使用、病虫害防除指針 etc.)